

令和7年度第2回 成田市地域公共交通会議 資料

第1回交通事業分科会における協議について

令和7年11月10日
成田市都市計画課

目 次

第1回交通事業分科会の開催について	P. 3
ワークショップによる見直しの方向性：コミュニティバス	P. 4
今年度の取り組みについて（コミュニティバス）	P. 5
ワークショップによる見直しの方向性：オンデマンド交通	P. 6
運行見直し案①	P. 7
運行見直し案②	P. 8
交通事業分科会での主な意見：オンデマンド交通	P. 9



令和6年度 成田市産業まつり 公共交通PRコーナー

公共交通利用促進 デザイン

令和7年度第1回 成田市地域公共交通会議 交通事業分科会の開催について

<日 時>

令和7年10月1日（水） 14：00 ~ 16：00

<場 所>

成田市役所 行政棟6階 中会議室

<出席委員> 11名

- ・学識経験者
- ・一般乗合旅客自動車運送事業者を代表する者
- ・成田市タクシー協議会を代表する者
- ・鉄道事業者を代表する者
- ・市長が指名する者及び関連する事務を所掌する職員

【敬称略】

伊東 英幸、河合 俊彦、田口 健、南雲 純一(代理)、高橋 誠一(代理)、重松 景則(代理)、五木田 治、堀越 正宏、辻 和宏、山崎 勲、川瀬 毅

<議題>

- (1) コミュニティバスに係る今年度の取り組みについて
- (2) オンデマンド交通の運行見直しについて

ワークショップによる見直しの方向性：コミュニティバス

しもふさ循環ルート

【見直しの方向性】

- ①コミュニティバスの運行ルート最適化
- ②バス車両の小型化

【令和7年度 取組予定】

- 運行ルート等の最適化（既存のルート・運行形態の見直し、他ルートの活用）について、交通事業者との協議・調整
- 地域住民の意見収集
- 令和8年度 実証運行（ルート変更など）の検討・準備

遠山地区路線競合

【見直しの方向性】

- ①コミュニティバス・路線バスの相互連携による、互いの運行ルート・ダイヤの最適化
- ②コミュニティバスの運賃見直し

【令和7年度 取組予定】

- 運行ルート等の最適化（既存のルート・ダイヤの見直し）について、交通事業者との協議・調整
- 地域住民の意見収集
- コミュニティバスの運賃見直しの検討（全ルート）
- 空港の機能強化に併せた公共交通ネットワーク構築の検討（NRTエリアデザインセンターとの連携など）

今年度の取り組みについて（コミュニティバス）

【コミュニティバスの運行見直し（下総地区）】

- 運行ルート等の最適化
⇒ 委託事業者である京成バス千葉イースト様との意見交換の実施
- 地域住民の意見収集
⇒ 令和8年度中の実証運行の実施に向けた運行内容の検討のため、地域住民の意見収集（ヒアリング調査やアンケート調査など）を実施

＜分科会での主な意見＞

- アンケート設計を工夫（具体的な設問設定など）し、地域に事前のヒアリング調査を実施することが望ましい
- 自由意見を求めるとき望事項の回答となってしまうため、市の考えを示した上で有効な回答が得られるようにすべき

【今後の対応】

- ⇒ アンケートの調査内容を含め、市と交通事業者とで協議しながら決定していく

【路線バスとコミュニティバスの路線競合の解消（遠山地区）】

- コミュニティバス遠山ルートの将来像について

＜分科会での主な意見＞

- 運賃格差や朝の時間帯のコミュニティバスの増車対応といった民業圧迫状況の改善を求める（コミュニティバスの運賃値上げなど）

【今後の対応】

- ⇒ 市と交通事業者とで継続的に議論を実施していく

- 成田空港の更なる機能強化に合わせた公共交通ネットワーク構築

参考資料：成田空港「エアポートシティ」構想【概要】

千葉県ホームページ
『成田空港「エアポートシティ」構想の
公表について』
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/narita/kousoukouhyou.html>



ワークショップによる見直しの方向性：オンデマンド交通

オンデマンド交通

【見直しの方向性】

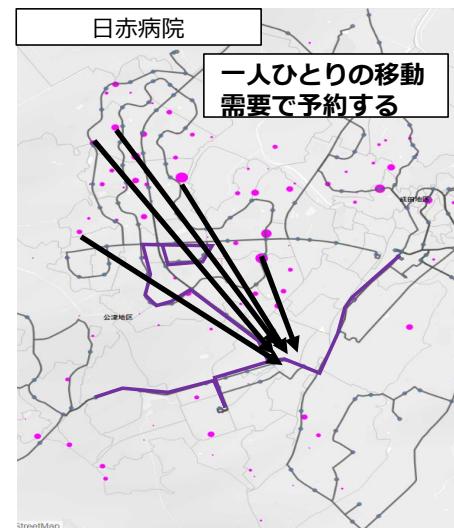
- ①乗り合い率・マッチング率の改善
- ②民間の公共交通への誘導・利用促進
- ③病院行きの定期便運行

【令和7年度 取組予定】

- 交通事業者への民間公共交通の更なる充実（増便等）の要請
- 民間公共交通の利用促進策の検討
- 既存オンデマンド交通の運行形態見直し（代替案の実証運行含む）の検討



【オンデマンド交通車両】



オンデマンド交通の運行見直し：見直し案①

●運行見直し案①

乗合率の向上を目的とした変更を行い、郊外地ではオンデマンド交通利用者の掘り起こしなどを行う。

乗合率の向上のため、オンデマンド交通予約システムの一部設定変更を行う。郊外地においては、特定地域車両の対象地域を追加するほか、オンデマンド交通の利用促進を行い、利用者の増加を図る。

➤ オンデマンド交通予約システム設定変更

例：ゆとり時間（現在の出発・到着ごとそれぞれ前後8分ずつの設定）の変更

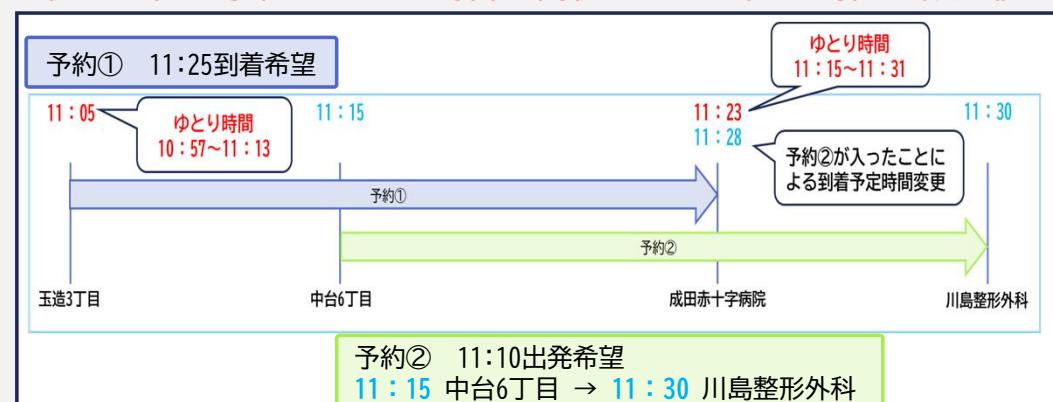
※ゆとり時間：最初の予約時に決定した発着予定時刻を、後から他の予約が入った場合に前後にずらす調整時間の設定値

➤ 特定地域車両の対象地域の変更

現在、「下総・久住・中郷」の3地区に居住する利用者へ優先配車される車両1台あり

➤ 郊外地におけるオンデマンド交通の利用促進

例：未登録者向け説明会、乗車体験会の実施



オンデマンド交通の運行見直し：見直し案②

●運行見直し案②

N T 地区内移動は、路線バスと予約制ルート型運行便への転換を図る。

N T 地区内の短距離移動は乗り合いになりにくく、また、地区内移動が可能なバス網が比較的充実していることから、路線バスによる移動を基本とし、バス路線がないエリアは予約制のルート型運行便での移動に転換を図る。

➤ 予約制ルート型運行便

- ・あらかじめ目安のルートと時刻表を設定し、予約があった時のみ運行（路線不定期運行）
- ・運行車両は需要見込みに合わせて選択

➤ 路線バス利用促進

- ・N T 地区内の医療機関、商業施設へアクセス可能な路線バスを紹介するチラシの作成・配布などの利用促進策の実施

➤ オンデマンド交通予約システムの変更

- ・従来のオンデマンドの運行エリアから新たなルート運行へのシステム仕様の変更を実施



オンデマンド交通の運行見直しについて：交通事業分科会での主な意見

＜分科会での主な意見＞

●運行見直し案①について

- 「ゆとり時間」の設定変更は、乗合率の改善が期待される
- 設定変更には費用や時間はかかりず、早期の実施が可能である

●運行見直し案②について

- 路線バスと重複しないルートでの運行が理想である
- 大規模な運行の見直しとなり、コスト増加の可能性があるため、慎重な検討が求められる
- お断り率（利用希望者に対して供給が足りているか、過剰であるか）の確認が必要である

【今後の対応】

⇒運行見直し案①について優先的に検討を進める（設定変更など運用上の見直しは、市及び成田市タクシー協議会の実務レベルで今後調整を行う）

また、運行見直し案②の具体化・具現化に向けては、根拠データ等で不十分な部分の補完作業を行うとともに、利用者や地域の方々の意見も伺いながら、検討の深度化を図っていく